

高島学区まちづくり推進委員会

委員長 熊谷 一成

(問合せ先) 084-956-0219 (田尻高島交流館)

事業内容

(1) 安心・安全事業	①自主防災事業 (7月19日/11月24日)
	②王ヶ峯遊歩道清掃事業 (12月8日)
(2) ふれあい事業	①文化講演会 (10月8日)
	②第53回田尻町夏まつり (8月3日)
	③第16回いきいき作品展 (11月4日～11月8日)
(3) 伝統芸能保存 継承事業	①伝統芸能保存継承事業 (通年)
	②備後田尻荒神神楽保存継承事業 (通年)
	③金崎芸能保存継承事業 (5月～12月)
(4) スポーツ 振興事業	①子ども健全育成事業(通年 主に7/21球技大会)
	②スポーツ振興事業(通年 主に10/13町民運動会)
(5) たじり杏まつり	(2025年3月23日)
(6) 田尻町広報事業	(通年)
(7) たじり杏の里振興事業	(通年)
(8) 公衆衛生事業	(通年)
(9) ばら花壇管理育成事業	(通年主に5月26日田尻ばらまつり)
(10) まちづくり推進委員会運営事業	(通年)



夏まつり (2024年8月3日)

普通救命講習会
(2025年1月26日)

成果

各事業を通して各種団体・地域住民等の協働による主体的な活動により、地域の文化振興・人々の交流の活性化を図ることができた。2024年度は「田尻高島交流館落成式」を行政と地域が一丸となり計画し、地域の特色である、神楽やはね踊りを披露するなど盛大な式典を開催することができた。また、恒例の「たじり杏まつり」では、杏船の運航や天候にも恵まれ町内外から多くの来場者を迎え地域の活性化に繋がった。

課題

少子高齢化の背景もあり、どの事業でも地域及び関係団体の後継者の育成が急務である。役員の掛け持ちが多く固定化しているため、今までの取組に加え新しい関係者を取りこむ活動や仕組みが必要である。たじり杏まつり事業では来場者は増えたが、物価高騰や安全確保のための事業費も増え、財源確保が今後の課題である。

課題解決にむけて

指導者の高齢化がすすむ伝統芸能保存継承事業では、数年前より保護者や経験者が継承する取組に加え未経験者や中高生・大学生の参加を呼びかけてきました。少しずつではありますが、新しく活動に参加してくれる人が増えました。今後もこういった活動を持続すること、また他の事業も関係者を取りこむ仕組みづくりが必要です。

高島学区“田尻”のいろいろ



2024年9月21日に「田尻高島交流館落成式」を行政と地域が丸となり開催しました。

田尻ならではの、はね踊り、神楽などを披露し、まちづくりの拠点となる集いの場をスタートさせました。



花のまち田尻町



2025年3月23日
杏まつり



2025年3月23日
菜の花まつり



2024年5月26日
ばうまつり